

宮城野会 会員数 192 名 (6/1 現在)

放送大学と宮城野会の一人ひとりをつなぎます

放送大学 同窓会

宮城野会会報

52 号

発行日 : 2026 (令和 8) 年 6 月

発 行 : 放送大学同窓会

「宮城野会」

放送大学宮城学習センター内

〒980-8577

仙台市青葉区片平2-1-1

Tel : 022-224-0651

Fax : 022-224-0585

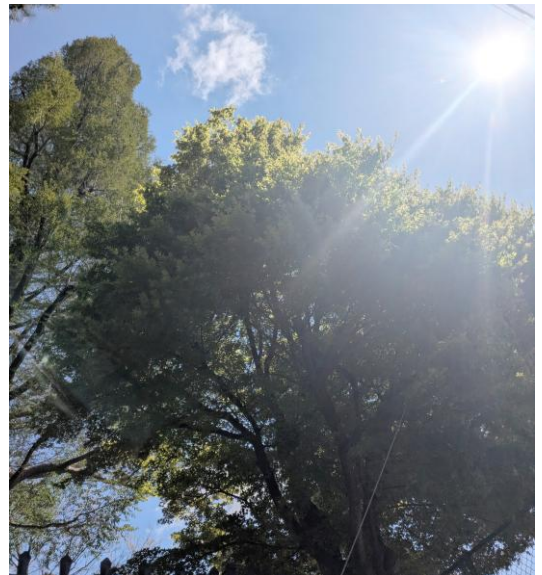
E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp



入学者の集いを祝うかのような桜

季節は春から初夏へ…

～学習センター付近の風景～



役員会の日
まぶしい青空と新緑

CONTENTS

2～6 宮城野会 とびっくす

7～9 招待席

「人ならざる者」に囲まれた世界で、
「人の歴史」を考える

客員准教授 川内 淳史

10 交流ひろば

11 宮城学習センターからのお知らせ

12 同窓会宮城野会からのお知らせ

宮城野会の
活動を紹介
するページ
です

宮城野会

令和8年度 放送大学同窓会「宮城野会」総会

今年度は5月17日（日）午前11時から宮城学習センター講義室2で行われました。

宮城野会の会員数は192名、出席者18名、委任状提出者107名、合計125名となり総会は成立しました。

佐々木会長挨拶の後に、所長の八鍬友広先生より祝辞をいただき、総会を開催しました。議長に沼邊茂信氏が選出され、審議の結果、協議第1号から第5号のすべての議案が承認されました。



令和8年度同窓会「宮城野会」役員

役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長	佐々木 美枝子	事務局長	佐々木 幸 江
副会長	二 郷 成 子	事務局補佐	沼 邊 茂 信
会 計	佐々木 美枝子	新理事	沼 邊 茂 信 細 川 洸 也
	上遠野 純 子	監 事	谷 津 美智子
理 事	細 川 洸 也	サポーター	大場 信子 小野寺 美恵子 大黒 福太郎
	鵜 殿 美 香		菊田 容二 菅原 弘美 久形 美香
	上遠野 純 子		菊地 真 清水 直子 齋藤 安弘

●茶話会

総会後に食事をいただきながら、近況報告などで話に花が咲きました。

同窓会として顔を合わせて活動できることに、喜びのコメントもありました。

●映画「二宮金次郎」鑑賞会

去る11月22日（土）の鑑賞会は、インフルエンザの大流行で参加者は少人数でした。

「せっかくの素晴らしい作品だからみんなで観たいもの」との意見が出て、再度、放送大学学生の戸田藤和さんのご協力を得て今回の鑑賞会が実現しました。

鑑賞後の会場は、静かな感動の余韻に包まれました。戸田さん、ありがとうございました！

ご参加いただいた皆さん、お疲れさまでした。

とびっくす



会員みなさんのお声……返信ハガキより

○出席者より

- ・いつも大変お世話になっております。今回は全て参加させていただきます。楽しみにしています。 / ・役員の皆様ありがとうございます。
- ・外出の機会が減ってしまったので当日が楽しみです。よろしくおねがいします。
- ・皆さんに会えるのを楽しみにしています。 / ・盛会を祈念しております。
- ・おかげさまで、今年3月に2度目の卒業を迎えることができました。
- ・役員の方々には、いろいろとお世話になって居ります。今年度も宜しくお願い致します。

○委任状より

- ・2026年度をもちまして宮城野会を退会いたします。長い間、ありがとうございました。
- ・お世話様です。活動に参加できておりませんでしたので大変申し訳ありませんが退会させていただきますと思います。よろしくお願いいたします。
- ・長い間お世話になりました。今後の貴会の益々の発展を祈念致します。ありがとうございました。 / ・今年度で退会します。
- ・大変お世話になっております。身体の調子が悪く、現在療養中です。
- ・ご無沙汰しております。今年は行政書士、宅建士に挑戦します。自家用操縦士もです。
- ・予定があり欠席とさせていただきます。役員の方の準備等ありがとうございます。
- ・返信遅くなり申しわけありません。 / ・毎々お世話様です。御盛会を祈念致します。
- ・古希になりました。今年9月の5回目の卒業に向けて日々邁進中です。放送大学に、乗り鉄に、飲み鉄に、国内旅行に、海外旅行に、漢字検定にと、やりたいことが、「CMの宮崎美子」のように湧いてきます。こんな状況です・・・！ / ・初めまして。よろしく御願います。
- ・幹事の方のご尽力に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・他団体の総会とかぶってしまいました。大変申し訳ございません。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。予定が立て込んで参加できません。
- ・孫育てのお手伝いの為、石巻で生活中。ほぼ6ヶ月経過、子育てって大変を実感中。
- ・現在修士科目生として勉強しております。 / ・宜しく御願ひ申し上げます。
- ・当日は所用あり欠席させていただきます。大学院全科生（情報学プログラム M2）として、研究活動を行っています。総会、ご盛会の程！ / ・よろしくおねがいします。
- ・参加したかったのですが、用事があって参加できません。来年こそはと思います。

・いつもお世話になり、ありがとうございます。用事があるため欠席させていただきます。どうぞ宜しくお願いします。 / ・センターの桜など景色も楽しんでいます。

・いつも大変お世話になっております。あいにく出席することはできませんが、どうぞよろしくお願いいたします。 / ・いつもお世話様です。テストは難しいですが受講だけ続けています。

・いつも大変お世話になっております。大変申し訳ございませんが当日は先約が入っておりますのでお伺いできず残念でございます。ご盛会をお祈りいたします。 / ・お疲れ様です。

・会長はじめ役員皆の活動に敬意を表してます。今回5月17日別件用件があり残念ながら欠席します。自立した生活の必須事項として炊事、洗濯、整理整頓、戸締、火の用心の5つを守っております。 / ・出張のため欠席します。皆様のご多幸をお祈りします。

・役員の皆さま大変ご苦労様です。総会、茶話会が盛会でありますようお祈りしております。

・改築後の放送大学に足を運ばせて頂いた際、大好きな建物なので、心から嬉しく思いました。

・都合により欠席いたします。役員の皆様には大変お世話になっております。よろしくお願い致します。 / ・いつもありがとうございます。仕事にぼちぼち行ってます。

・いつもお世話になっております。係の方々、ごくろう様です。 / ・院試に向けて勉強中。

・地域の総会のため出席できません。役員の皆様応援してます。 / ・御盛会を祈ります。

・新しい環境で日々励んでおります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

・当日は県・市障害者スポーツ大会にボランティア参加としての予定があり出席ができません。残念です。 / ・総会当日予定があり欠席いたします。ご盛会をお祈りいたします。

・いつも大変お世話になりまして、ありがとうございます。今後共宜しく願いいたします。宮城野会の会報を毎回楽しみにしております。 / ・よろしくお願いします。

・役員の皆様、いつも大変御苦労様です。仕事で出席できません。すみません。

・土、日の都合がつかず欠席で申し訳ございません。魅力ある同窓会であるべく卒業生として自覚と誇りを持って参加したいと思っております。 / ・出席できずすみません。

・役員の皆様方の日頃の運営へのご尽力に感謝と御礼を申し上げます。総会のご盛会を祈念申し上げます。所用の為欠席で誠に申し訳ございません。 / ・盛会をお祈りいたします。

・総会のご案内をありがとうございます。残念ながら都合により欠席いたします。大変申し訳ございません。ご盛会を心よりお祈り申し上げます。

・卒業後、初の総会なのですが町内会（今年は役員のため）の行事と重なってしまい、欠席させていただきます。街路樹は青葉だろうな…。 / ・盛会でありますようお願いしています。

・いつも、いろいろな楽しい“同窓会だより”をありがとうございます。伺えなくて本当に申し訳ありません。 / ・大変申し訳有りませんが都合により欠席いたします。

コメントをくださった皆さん、ありがとうございます。
退会される方々、これまでお世話になりました。
今回は参加できなかった方も、ご都合がございましたらぜひ行事に参加してくださいね。
お待ちしております！



研究発表会と茶話会

2月28日（土）に宮城学習センターにおいて、研究発表会と茶話会を開催しました。修士研究2本の発表に対して、活発な質疑応答が行われました。

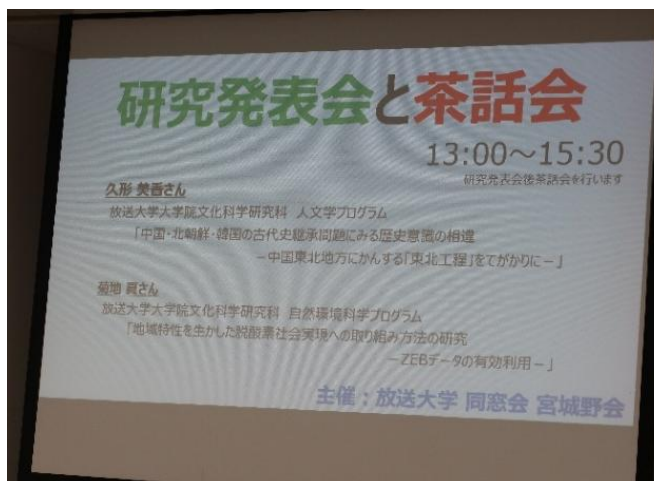
<発表者とテーマ>

◆ 久形美香さん：「中国・北朝鮮・韓国の古代史継承問題にみる歴史意識の相違ー中国東北地方にかんする「東北工程」をてがかりにー」

→久形さんは、中国の領域概念、東北工程と韓朝の反発、日本の満鮮史を順に検討し、朝鮮半島における歴史継承意識と遼東・満州への領域認識の関係を明らかにすることを目的に研究されました。

◆ 菊地真さん：「地域特性を生かした脱炭素社会実現への取り組み方法の研究ーZEBデータの有効利用ー」

→菊地さんは、公開されている ZEB 建築データを用いて、空調の一次エネルギー消費量削減率と地形、地質の関係から、地中熱、地下水利用の効果を検証し、地域特性に適した脱炭素モデルを構築するということを目的として研究されました。



学位記伝達式と卒業祝賀会



3月22日（日）に宮城学習センターにおいて、2025年度第2学期に卒業・修了単位を修得した学生の学位記伝達式が行われました。

宮城学習センターからは64名が卒業・修了され、うち2名が教養学部6コースをすべて卒業して「名誉学生」の称号が付与されました。

続く卒業祝賀会では、食事をいただきながらお互いに研究の苦労や今後の目標について話し合うなど、和やかなお祝いムードに包まれました。

おめでとうございます！



入学者の集い

4月5日（日）に東北大学金属材料研究所2号館の講堂で開催されました。

会場では宮城野会の様子をご紹介するほか、宮城野会会員が直接入学者をフォローできる相談コーナーも設けられました。

式典では放送大学学歌が講堂に流れ、放送大学岩永雅也学長のご挨拶メッセージが正面のスクリーンに映し出されました。

宮城学習センターからは、
八鍬 友広 所長のご挨拶
客員教員の紹介

「宮城野会」佐々木 美枝子 会長の祝辞と続き、

藤王 勉 事務長からオリエンテーションがありました。

最後にサークル活動の紹介もあり、学びの意欲がかき立てられるようなひとときでした。



新年度が始まりました

会員の皆様のご協力によって無事に総会を終えることができ、また新たな1年が始まりました。総会の中では新たに細川さんと沼邊さんが役員に、齋藤さんがサポーターに手を挙げてくださり、ありがたい限りです。また、久形さん、菊地さん、清水さんは研究発表会の際にサポーターに加入してくださいました。これからよろしくお願いします。

役員といえば、中学時代に生徒会執行部にいた私は、会員の中に戦友（執行部の同期）を見つけたかもしれません（改姓した私のことを、先方は気づいてくれないと思いますが）。

老若男女問わず同窓生がいるという放送大学の環境は趣深いものですが、長い時を経て旧友に再会できるとしたら、それもまたとても素敵なことだと思います。

茶話会などで諸先輩方のご活躍をうかがうにつけても、日常生活、日々の学び、地域の活動など、諸々ががんばらねば！と思いを新たにします。

12ページにて研究発表のお誘い記事を掲載しておりますが、実は私も先輩とお話したり研究発表会に参加したりしているうちに、研究への情熱がよみがえってまいりました。

皆様もご都合が許すときには、ぜひ行事に参加してみてくださいね。新たな気付きや刺激が得られることと思います。

役員（2年生） うどの

招 待 席

「人ならざる者」に囲まれた世界で、「人の歴史」を考える

放送大学宮城学習センター

客員准教授 川内 淳史

アーバンベアと「人新世」の足音

最近、天気や物価高の話題と共に最もよく会話にのぼるのが、クマの話題である。私たちの暮らす都市のすぐ近くに現れる「アーバンベア」は、仙台の街中でも連日のように目撃され、今年 4 月には、マンションの敷地内で緊急銃猟が行われる事態にまで至っている。かつては境界の向こう側の存在だった彼らが私たちの領域を侵食し始めた背景には、気候変動によるエサ不足や里山の過疎化、耕作放棄地の増大といった、人間社会と自然環境の関係性の劇的な変容がある。朝晩のウォーキングでクマよけの鈴を手放せないという日常の光景は、私たちがもはやかつての安定した世界にはいないことを雄弁に物語っている。

こうした事態は、まさに「人新世（アントロポセン）」という新たな時代の現れである。人新世とは、人間の活動が地球の地質や気候を改変する主たる要因となった新たな地質年代を指す。2000 年にパウル・クルツェン（1995 年にオゾン・ホールの研究でノーベル化学賞を受賞した大気化学者）によって提唱され、2024 年に国際地質科学連合（IUGS）での正式採用こそ否決されたものの、そこに込められた危機認識は学術の枠を超えて広がっている。1950 年代以降、人口や経済、エネルギー消費が爆発的に増大した現象を「グレート・アクセラレーション（大加速）」と呼ぶ。これが二酸化炭素濃度の上昇や海洋の酸性化を引き起こし、地球システムを修復不可能なまでに変質させた。この事実が、人新世の議論の核心に据えられている。科学者が「プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）」と呼ぶ九つの領域のうち、すでに多くが限界値を超えているとされる現代において、アーバンベアの出現は惑星規模の危機のほんの一端に過ぎない。

興味深いことに、この地質年代の開始点については、放射性物質の拡散を指標とする「核時代」の始まりと重なる議論もある。歴史学者の保立道久が強調するように、人類が自らと地球を破壊しうる「死の力」を持ってしまった時代として、人新世と核時代はコインの裏表の関係にあると言えるだろう。



衝突する二つの歴史と災害の正体

人新世は、私の専門である歴史学のあり方にも刷新を迫っている。先鞭をつけたのはインド出身の歴史学者ディペシュ・チャクラバルティである。彼は、人類が「地質学的力（地球の地質や気候を動かす力）」となった現代においては、「人間の歴史」と「自然（非人間）の歴史」を区別することは不可能であると説く。

これまでの歴史学にとって、自然環境は人間という俳優がドラマを演じるための「不動の舞台（背景）」に過ぎなかった。しかし、人類が地球システムそのものを改変し始めたことで、その舞台そのものが人間の過去の活動によって激しく書き換えられ、変質してしまっているのである。

ここで私たちは、二重の視界を要求される。一つは、これまで通り制度や社会の葛藤を追う「人間中心」の視点、そしてもう一つは、人間を一生物種として地球システムの中に捉える「惑星的」な視点である。気候変動やアーバンベアの出現は、まさにこの二つの歴史が衝突し、不可分となった現象に他ならない。

この衝突は、私たちが慣れ親しんできた「災害」の意味も一変させる。災害科学では、自然現象としての「誘因（ハザード）」と、社会の側の脆弱性である「素因」を区別する。かつては「自然災害」という言葉で、責任を自然という外側に求めてきたが、人類が誘因そのものを改変している今日、もはや純粋な自然災害は存在しない。あらゆる災禍は、どのような社会構造がその被害を招いたのかという、歴史的・政治的な責任の問いへと直結しているのである。

適応の資源としての「過去」

こうした衝突は、私たちが慣れ親しんできた「過去」のあり方をも変容させる。従来の科学的議論では、「過去の統計が未来の安全を保証する」という「定常性（Stationarity）」を前提としてきた。しかし、過去に例のない変動が続く人新世において、この前提は崩壊したと言える。もはや過去は、未来を予測するためだけに参照される単純な素材ではない。

では、歴史学は無力化したのか。むしろ逆である。過去は、不確実な世界を生き抜くために掘り起こされるべき「適応の資源」へと再定義されるべきなのだ。物理的な「元の状態への復旧」が不可能な時代だからこそ、かつて人々がいかに生存の仕組みを築き、極限状態でいかに尊厳を保ったのかという履歴を参照し、新たな生存の地平を構想する「歴史的再構築」が求められているのである。

◆ 「招待席」は、客員の先生に原稿をお寄せいただいております。

食人鬼と天使の統合

第二次世界大戦中、ナチスへのレジスタンスに参加して命を落とした歴史学者マルク・ブロックは、歴史学を「人間の科学」と定義し、歴史家を「人間の肉の匂い」を嗅ぎ分ける「伝説の食人鬼」に例えた。歴史資料の奥底から過去の人々の生々しい息吹を探り当てることが、彼の信じた歴史家の使命であった。

現代の歴史家（食人鬼）は、その嗅覚をさらに鋭く研ぎ澄まさねばならない。獲物の匂いは今や文書館だけでなく、人間の行為が染み込んだ「地層」や、声なき絶滅種たちの「沈黙」の中からも漂っているからである。

同時に私たちは、思想家ヴァルター・ベンヤミンが描いた「歴史の天使」の視座を併せ持つべきであろう。この天使は、未来へと吹き付ける「進歩の嵐」に抗えず、背中を向けて流されながらも、その眼差しは背後に積み上がる「瓦礫の山」を凝視し続けている。この瓦礫とは、輝かしい文明の進歩の陰で繰り返されてきた破局の積み重ねであり、人新世においては、汚染された土壌や失われた生態系という「地球規模の廃墟」をも指し示している。

天使のように瓦礫の前に踏みとどまり、何が失われ、何が守られるべきかを問い続ける倫理。そして食人鬼のように、能動的に生存の痕跡を追跡する実践。歴史学には、科学が提供する「事実の記述」を、「誰が、いかなる選択によってこの不条理を招いたのか」という責任の問いへと組み替える独自の役割があるはずだ。

たとえ鈴を鳴らして歩く朝の散歩のような、「人ならざる者」に囲まれた世界であっても、巨大な地球史のうねりの中で意味の連続性を紡ぎ直すこと。それこそが、人新世という過酷な時代において、歴史学が果たすべき使命であると私は信じている。

<プロフィール>

川内 淳史 （かわうち あつし）

東北大学災害科学国際研究所上廣防災学寄附研究部門准教授
放送大学宮城学習センター客員准教授



関西学院大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了 博士（歴史学）

専門は歴史学（日本近現代史）、資料保全論

NP0 法人宮城歴史資料保全ネットワーク事務局長

最近の著書・論文として、大門正克ほか編『「生存」の歴史をつなぐ—震災10年、「記憶のまち」と「新たなまち」の交差から—』績文堂出版、2023年（共編著）、「日本における「ロシアかぜ」流行の社会史的分析—1889-1891年パンデミックと日本社会—」『文明動態学研究』5号、「震災資料の可能性を問いなおす—体験から歴史へのあいだ—」『新しい歴史学のために』307号など。

新入会員のコメント

佐藤 勝也

45歳で放送大学を卒業し、その直後に警察学校へ入りました。年齢差のある方々と一緒に過ごす毎日とはとても新鮮で、最初は体力面や環境の違いに不安もありましたが、実際に入ってみると想像していた以上に充実した日々を送ることができました。久しぶりの集団生活や規則正しい毎日は大変でしたが、同時に良い刺激にもなっています。

現在は警察関係の情報分野の仕事に就き、覚えることの多い毎日を過ごしています。

放送大学では働きながら学ぶ習慣が身につき、「年齢を理由に挑戦を諦めないこと」の大切さを実感しました。



山田 孝子

コロナ禍、私は前職である消費生活相談の仕事が辛くなりました。面談業務が一気に減り、私が得意とする face to face が叶わなくなったことで心身に不調をきたしたのです。そこで、体調回復を図って週二日、特定の分野に限っての相談員に転職をしました。丁度その時、放送大学のCMを見たのです。入学試験がない！資格が取れる！授業料は破格値！早速、以前から興味があった心理学を専攻に入学しました。授業は楽しく、私の知識や経験で足りない部分を、一つ一つ埋めてくれました。特に心理学実験では学習センターやオンラインで講師や他の学生とのディスカッションに興奮を覚え、充実した日々は体調をも良くしてくれました。

そうして、卒業と資格取得をした私を家族や友人が称えてくれ、心が満たされる感覚を実感しました。今は、人生の後半を充実させたいと強く思います。人と関わるときめきを思い出させてくれた放送大学に感謝します。



宮城学習センターからのお知らせ

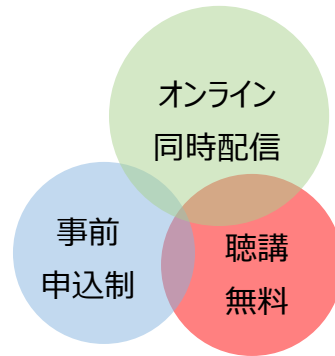


公開講演会を開催します

「マンガ読解の心理学」

日時：2026年8月22日（土）13：30～

場所：宮城学習センター講義室



講師

東北大学大学院情報科学研究科准教授

放送大学宮城学習センター客員准教授

和田 裕一 氏

詳細は宮城学習センターウェブサイトに掲載いたします。

問い合わせ先：022-224-0651

放送大学宮城学習センター

検索

2026年度10月入学生を募集しています

いつでも再入学に関する相談・学習の進め方等に関する個別相談を受け付けています。試験の受け方、成績の確認方法等、在学生の相談も受け付けています。

ご希望の方は、宮城学習センターへお問い合わせください。

電話：022-224-0651 メール：miyagi-sc@ouj.ac.jp

宮城学習センターウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/miyagi/>

「共修生」として面接授業を受講してみませんか？

放送大学の学籍の有無にかかわらず、どなたでも面接授業を受講できる制度です。

一般の方、卒業生、大学院生、再受講を希望する学部生など、正規学生と一緒に学んでいただけます。

2026年度第2学期の募集開始は10月中旬ごろです。

詳細は宮城学習センターウェブサイトをご覧ください。※学生が共修生として受講する場合、単位修得はできません。

2026年4月より

閉所日が変わりました

月曜、火曜、祝日（4月～7月／10月～1月） 日曜、月曜、祝日（8月、9月／2月、3月）

ご確認のうえ、来所してください。

同窓会 宮城野会からのお知らせ

あなたの研究、発表してみませんか？

来る10月11日（日）に、宮城学習センターにて研究発表会を開催する予定です。
5ページでご紹介した通り、専門外の方にも広くご自分の研究について知っていただけるチャンスですよ。

発表者が放送大学の卒業生・修了生であれば、他の大学等での研究成果でも大歓迎！
現在、修士研究1本の発表が予定されています。

◇ 佐々木幸江さん

「子ども食堂の社会的機能と課題 ―宮城県北の事例研究を通して―」

発表したい方、発表を検討される方は、宮城学習センターまでご連絡ください。
皆様のエントリーをお待ちしております。

連絡先：E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp

しめきり：8月22日まで

参加料は無料です

令和7年度 年会費納入について

同封の振込取扱票（青紙）を使い、最寄りの郵便局の ATM・窓口で振込みをしてください。よろしくお願いいたします。

*前年度までの会費未納の方には、合計金額を記載した振込取扱票（青紙）をお送りしています。



- ・ ゆうちょ口座名 放送大学同窓会宮城野会
- ・ 年会費 **1,500 円**
- ・ 記号 02230-0 ・ 番号 47188



各500円 ▶ バッジ購入希望の方は、
宮城野会役員または宮城学習センター事務
室を通してお申し込みください。

「会員のページ」への投稿募集

封書またはEメールで宮城学習センター
「宮城野会」までお寄せください。

皆様の投稿をお待ちしております。

E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp